

意見広告

取水施設の護床工が崩壊

日本の食料を支える 社会資本が 失われつつあります。

用水路の壁が倒壊

用水パイプが破裂

日本の食料生産を支える、農地と農業用水。

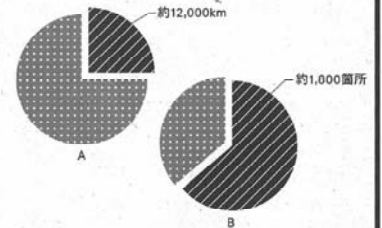
農地がきちんと整備され、そこに適切な農業用水が届けられることで、食料生産が成り立っています。

主に江戸時代からの400年間に農家や為政者などによって営々と築かれた農業用水路は、水路延長だけでも地球10周分(約40万km)にのぼります。

これらの農業用水路は農業用水を供給するだけでなく、洪水防御・景観の形成・生態系の保全など多くの役割を果たしており、国民にとって貴重な財産です。多くの施設は戦後の食料増産期に近代化されましたが、既に50年以上が経過し老朽化が著しく、国が造成した基幹的な水利施設についても、約4分の1が緊急の改修や更新を必要としています。例えば、基幹的な農業用排水路等約49,000kmのうち約12,000kmが、農業用排水機場約2,800箇所のうち約1,800箇所が、その耐用年数を超過しています。

しかし、公共事業が大幅に削減され、こういった施設の改修・更新が困難になっています。このまま老朽化が進むと、水路としての機能が失われ、食料自給力を維持できない状況に陥ってしまいます。

全国の農業用水路や水利施設の約4分の1が耐用年数を超過し、改修や更新を必要としています。



農業用排水路等(A)・農業用排水機場(B) 耐用年数を超過している割合

農林水産省(農林水産部)「農林水産部(農林水産部)の業務報告書」(農林水産省)「農林水産部(農林水産部)の業務報告書」に基づき作成。いずれも平成20年度の調査です。

安全で安心な食料生産を支える農地と農業用水、 私たちは国民として真剣に議論すべきではないでしょうか？

食料の生産基盤を未来に繋ぐ
意見広告プロジェクト

私たちは、安全・安心な「食」の供給や豊かな「地域」社会の再生のために、農地や農業用水を未来に繋いでいかなければならないと考えています。そのために賛同と呼びかけ、頂いた意見ととりまて、国会・政府に要請する等の活動と行ってきました。

この意見広告もプロジェクトにご賛同いただいた方々からの賛同金によって支えられています。あなたにもぜひご賛同いただけることを願っています。

賛同金振替口座/ゆうちょ銀行 振替口座 00180-8-290700 加入者名:意見広告プロジェクト <プロジェクト呼びかけ人代表> 林良博 東京農業大学 農学部教授

プロジェクトについて、くわしくは

<http://www.inakajin.or.jp/shoku-mirai/>

「食料の生産基盤を未来に繋ぐ意見広告プロジェクト」 東京都千代田区平河町2-7-4 TEL.03-3234-5480